

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9月					10月					11月				12月			1月	備考			
				27		4	11	18	25	1	8	15	下	上	中	下	前	後							
固体廃棄物の保管管理計画 処理・処分計画	1. 発生量低減 対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・貸出運用方法の検討	検討・設計	貸出運用方法の検討															体制等調整					
			(予定) ・貸出運用方法の検討 ・運用開始準備	現場作業	運用開始準備																				
	2. 保管適正化 の推進	ドラム缶保管施設 の設置	(実績) ・実施計画変更認可申請対応 ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 山留工事 掘削工事	検討・設計	固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事																				・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 山留工事 掘削工事 杭工事	現場作業	山留工事 掘削工事 杭工事															最新工程反映					・2017年2月：竣工予定
			(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事 換気空調設備、焼却設備系統試験 耐火物試験	検討・設計	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事																				雑固体廃棄物焼却設備：2016年2月稼働予定 ・建屋工事(～2015年10月) ・機電工事(～2015年9月) ・試運転期間(2015年10月～2016年2月) 【主要工事工程】 ・基礎工事完了：2013年10月5日 ・上部躯体工事完了：2015年7月21日 ・1階PC柱・梁取付完了：2013年12月12日 ・2階PC柱・梁取付完了：2013年4月7日 ・使用前検査(焼却炉建屋、雑固体廃棄物焼却設備) 2014年2月18日～
(予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事 換気空調設備、焼却設備系統試験 耐火物乾燥 各種フィルタ性能試験 焼却炉コールド試験 使用前検査	現場作業	換気空調設備、焼却設備系統試験 耐火物乾燥 各種フィルタ性能試験 焼却炉コールド試験 雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 外構工事															最新工程反映					使用前検査			
・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 外構工事	現場作業	雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 外構工事															最新工程反映								
覆土式一時保管 施設3,4槽の設 置	(実績) ・設置工事(3槽) ・遮水シート施工	検討・設計	設置工事(3槽)																				・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解		
	(予定) ・設置工事(3槽) ・遮水シート施工 ・設置準備工事(4槽) ・4槽エリアレール一時撤去 ・設置工事(4槽) ・4槽掘削	現場作業	緩衝材施工 遮水シート施工 設置準備工事(4槽) 地盤改良のため 移動式ラック用レール 一時撤去(4槽エリア) 設置工事(4槽) 4槽掘削															最新工程反映							
一時保管エリア の追設/拡張	(実績) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG) ・保管槽擁壁設置(追設28槽分) ・盛土施工	検討・設計	伐採木一時保管槽の追設(エリアG)																				・伐採木一時保管槽の追設：工程調整中		
	(予定) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG) ・保管槽擁壁設置(追設28槽分) ・盛土施工	現場作業	保管槽擁壁設置(追設28槽分) 盛土施工															最新工程反映							

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9月	10月					11月				12月	1月	備考		
				27	4	11	18	25	1	8	15	下	上	中	下			
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計						一時保管エリアの保管量、線量率集計								
			現場作業	ガレキ等の将来的な保管方法の検討														
			現場作業	線量低減対策検討														
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	4. 水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド) 【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管 	検討・設計	【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド)														
			現場作業	乾燥試験(性能)														
			現場作業	フィルタープレス装置改造・製作														
処理・処分計画	固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海等) 	検討・設計	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査														
			現場作業	優先順位付け、分析計画の策定(原案提示)														
			現場作業	分析計画の策定(精査)														

・伐採木一時保管槽(2槽)蓋締施工完了: 2015年5月20日

受入再開時期調整中

評価作業を前倒して実施

作業時・トラブル時はよく評価

最新工程反映

試験・解析結果の評価

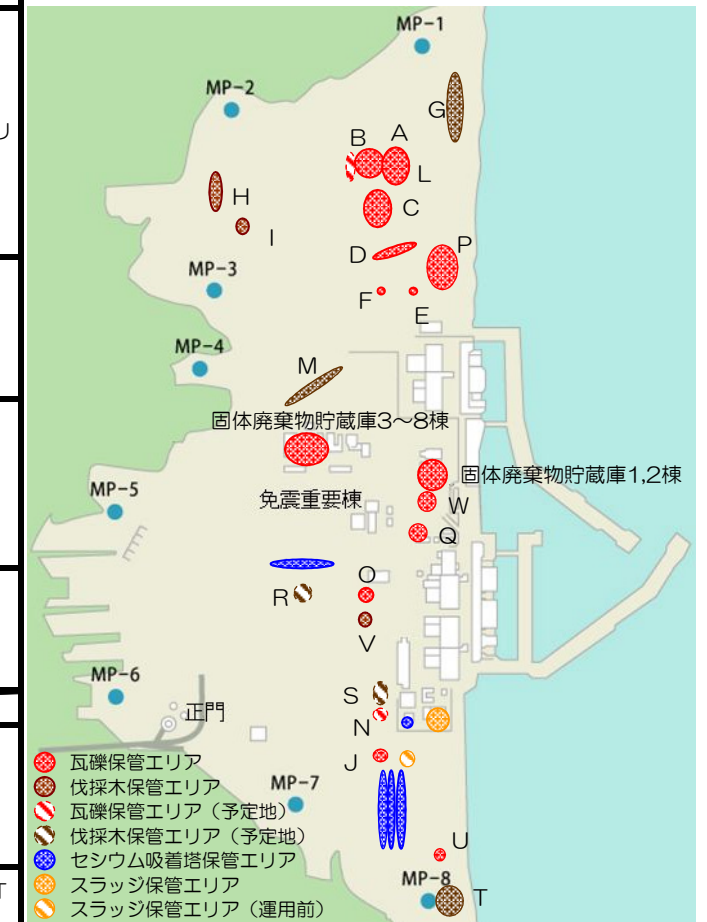
分析施設の不具合対応に伴う工程の見直し

最新工程反映

・低線量試料は、スラリー排出作業の直後に採取したもの
・高線量試料は、HICのたまり水調査時(一定期間放置後)に採取したもの

ガレキ・伐採木の管理状況(2015.9.30時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量※1	前回報告比※2 (2015.8.31)	変動※3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス				
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	57,700 m ³	+1,300 m ³	①②③④	91%	105300 / 174800 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> 可燃物集積 エリアJはコンクリート・金属の一時保管から、可燃物（容器収納）の一時保管に運用変更。（2015年9月8日～） β汚染土 タンク漏えい等で発生した主にβ核種で汚染した土については、エリアNでの一時保管を開始。（2015年7月15日～） フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。（2015年6月15日～） 2015年9月末時点で41基保管。 			
		F	屋外集積	0.01	5,700 m ³	-300 m ³	⑤⑥	76%					
		J	屋外集積	0.02	400 m ³	+400 m ³	⑥	9%					
		N	屋外集積	0.01	1,200 m ³	+900 m ³	②	12%					
		O	屋外集積	0.02	26,200 m ³	0 m ³	—	95%					
		P	屋外集積	0.01	13,400 m ³	+700 m ³	①②	22%					
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	30800 / 48300 (64%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアE エリアEの瓦礫類について、リスク低減の観点から容器収納へ移行中。 			
		E	シート養生	0.06	7,200 m ³	+200 m ³	①	45%					
		P	シート養生	0.01	0 m ³	0 m ³	—	0%					
		W	シート養生	0.03	21,000 m ³	0 m ³	—	72%					
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	18900 / 27700 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> 覆土式一時保管施設（第3槽） 瓦礫収納完了：2015年8月21日 仮覆土：2015年10月17日完了予定 			
		A	仮設保管設備	0.35	500 m ³	微増	—	7%					
		E	容器※4	0.01未満	100 m ³	-200 m ³	⑦※5	4%					
F		容器	0.01	600 m ³	0 m ³	—	99%						
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器※4	0.03	5,900 m ³	+200 m ³	⑦※5	49%	5900 / 12000 (49%)	<ul style="list-style-type: none"> 主なガレキは、3号機建屋で発生した高線量ガレキ。 第9棟設置に伴う実施計画変更認可。（2015年7月17日） 				
			合計（ガレキ）	161,000 m ³	+3,200 m ³	—	61%						
			伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01	14,700 m ³	0 m ³	—	83%	63700 / 79200 (80%)	<ul style="list-style-type: none"> 主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 その他工事により発生した幹・根を随時受入中。
					I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%		
M	屋外集積	0.01			38,500 m ³	0 m ³	—	86%					
V	屋外集積	-			0 m ³	0 m ³	—	0%					
一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽		0.01未満	7,300 m ³	0 m ³	—	27%	18400 / 50100 (37%)	<ul style="list-style-type: none"> 当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入。 			
	T	伐採木一時保管槽	0.01	11,100 m ³	0 m ³	—	48%						
合計（伐採木）	82,100 m ³	0 m ³	—	64%									



※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※3 主な変動理由：①フェーシング工事 ②タンク設置関連工事 ③陸側遮水壁設置工事 ④焼却対象物の集約作業 ⑤エリア整理のため一時保管エリアJへ移動 ⑥焼却対象物の受入

⑦水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）の受入 等

※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

※5 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）の保管量は、これまではエリアE（1～30mSv/h）に集計していたが、今回より各保管場所の保管量に加えた。

水処理二次廃棄物の管理状況(2015.10.22時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2015.9.24)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	674 本	+24 本	2834 / 6055 (47%)	<ul style="list-style-type: none"> 多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設（第三施設）全容量（容量3,456本）の使用前検査終了（2015年4月13日、1,536本増） 使用済吸着塔一時保管施設（第一施設）の吸着塔保管ラック復旧（50本増） 	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	148 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,041 基			+5 基
			増設	732 基			+30 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	66 本			+3 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	7 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		166 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 	
		濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,215 m ³	-11 m ³	9215 / 20000 (46%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし）



ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移

